



平和首長会議ニュース

2024年11月 / 第179号

平和首長会議加盟都市数

166 か国・地域 **8,429** 自治体

加盟都市数 10,000 都市を目指しています！

日本国内加盟自治体数 : 1,740

(2024年11月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！



ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>



フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



X(旧ツイッター):

<https://x.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆ 第13回平和首長会議理事会を開催しました
- ◆ 松井一實会長がアイルランド・ダブリン市を訪問しました
- ◆ 祝！日本被団協のノーベル平和賞受賞
- ◆ 📢11/25締切！第12回国内加盟都市会議総会への出席申込回答締切り間近です！
- ◆ 2025年8月に第11回平和首長会議総会を長崎で開催します
- ◆ 平和首長会議は展示データ提供を行っています！
- ◆ 平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
- ◆ 加盟都市の活動紹介
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,429自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

■第13回平和首長会議理事会を開催しました

第13回平和首長会議理事会を英国・マンチェスター市で開催し、役員都市9都市・1支部が出席しました。理事会では、PXビジョン及び行動計画(2021年-2025年)に基づくこれまでの取組状況を総括するとともに、次期行動計画や2025年に長崎市で開催予定の第11回平和首長会議総会の運営方針等について審議しました。

1 会期

令和6年(2024年)10月28日(月)、29日(火)

2 開催地

英国・マンチェスター市

3 出席都市

9都市・1支部

役職	都市	代表者
会長	広島市	松井 一實(市長)
副会長	長崎市	鈴木 史朗(市長)
副会長	マンチェスター市(英国)	ポール・アンドリュース(市長)
副会長	ハノーバー市(ドイツ)	トーマス・ヘルマン(副市長)
副会長	マラコフ市(フランス)	ファティア・アロダット(平和文化担当議員)
副会長	イーペル市(ベルギー)	フィリップ・デヒージャー(平和部長)
副会長	グラノラズ市(スペイン)	カルメ・バーバニー(国際関係部長)
副会長	ビオグラード・ナ・モル市(クロアチア)	ヤスミンカ・バリヨ(参事官)
理事	エヴォラ市(ポルトガル)	パウラ・サントス(担当者)
支部	フランス支部	ロレナ・シュリヒ(コーディネーター)

<その他>

(公財)広島平和文化センター専門委員

ジャクリーヌ・カバツソ

ランディ・ライデル

トーマス・ハイノツィ

4 審議事項

会議1 行動計画(2021年-2025年)の取組状況について

会議2 次期行動計画の取組について

会議3 被爆80周年の取組について

平和首長会議の運営に係る意見交換

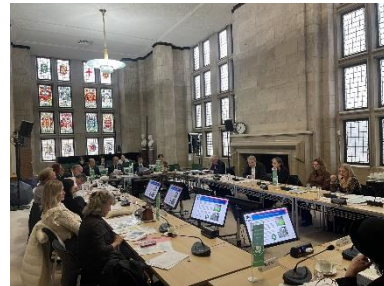
会議4 会議の総括

5 採択文書

[第13回平和首長会議理事会総括文書](#)

第13回理事会の詳細を含む、英国・マンチェスター市での活動については、平和首長会議ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2024/post-241112/>



■松井一實会長がアイルランド・ダブリン市を訪問しました

松井一實会長（広島市長）は、第13回平和首長会議理事会出席の機会を捉えて、核兵器禁止条約推進国であるアイルランドを訪問し、アイルランド議会上院でのスピーチや大統領、大臣、上下院議長等との面会等を行い、核兵器のない平和な世界を願うヒロシマの心を伝え、平和首長会議の取組に対する理解と協力を呼び掛けました。

アイルランド議会上院でのスピーチでは、アイルランドのノーベル文学賞受賞者シェイマス・ヒーニーの作品の一節を引用し、どんな困難に直面しようとも希望を持ち続けることが重要であるとした上で、被爆者の八幡照子さんの被爆体験証言や、日本被団協のノーベル平和賞受賞に触れ、世界の安全保障情勢が悪化している中で、核兵器廃絶のためには今こそ市民レベルの平和の連帯の強化が必要であると述べました。

また、豊かな文化を有するアイルランドの方々には世界で平和文化を先導することができるとして、多くのアイルランドの都市が平和首長会議に加盟していただきたいと述べました。



🔗 アイルランド議会上院でのスピーチ: [英語原文](#)・[日本語訳](#)

さらに、ヒギンズ大統領と面会し、大統領は平和首長会議の活動について、都市間の関係構築が重要であるとの見識を示されました。松井会長から、今市民が何を望み、何を必要としているかを国に伝えていくこと、戦いは間違った行動であると若い人たちに教育することを重視していると伝えると、ヒギンズ大統領は、市民が持っている良心に訴えて教育をすること以上に重要なことはないと言われました。



その他、上院議長、下院議長、国務大臣、ダブリン市長等と面会し、現下の国際情勢等について意見交換するとともに、松井会長からは「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という被爆者の願いや平和首長会議の取組について説明しました。

また、平和首長会議加盟セレモニーに出席し、アイルランドの16都市が新規加盟の署名を行う機会に立ち合ったほか、在アイルランド日本国大使館の全面的な協力により開催されている「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展」や「サダコと折り鶴ポスター展」について、3か所で開会セレモニーへの出席や地元の学生との交流を行いました。

🔗 その他、アイルランド・ダブリン市での活動の詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2024/post-241107-6/>

■祝！日本被団協のノーベル平和賞受賞

10月11日、2024年のノーベル平和賞が、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた「日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）」に贈られることが決定しました。授賞式は12月10日にノルウェー・オスロで行われる予定です。

日本被団協は、長年にわたり、核兵器の非人道性とその廃絶を、証言活動を通じて訴え続けてこれ、核兵器のない世界に向けた国際社会の取組に寄与されました。

核兵器廃絶という共通の目標に向けて活動している日本被団協の受賞に祝意を表するとともに、今回の受賞が、現下の厳しい世界情勢の流れを大きく変える契機となり、核兵器廃絶に向けた各国為政者の具体的な行動につながることを期待しています。

■ 11/25締切！第12回国内加盟都市会議総会への出席申込回答締切り間近です！

国内1,740の加盟都市の首長で構成する「平和首長会議国内加盟都市会議」では、平和首長会議の国内における取組の充実を図るため、毎年一回総会を開催し、取組についての協議・意見交換、加盟都市の取組についての情報交換等を行うこととしています。

今年度は、9月18日に送付したメールでご案内したとおり、令和7年1月16日(木)、17日(金)に、東京都武蔵野市において、第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会を開催いたします。ついては、総会及び意見交換会への出席、参加都市による平和活動の取組事例報告及び加盟都市情報コーナーでの展示・配架希望の有無について、当該メールに添付した「出席等連絡票」により、11月25日(月)までにご回答くださいますようお願いいたします。皆様のご出席を心よりお待ちしております。

【日程】

令和7年1月16日(木)、17日(金)

【会場】

1日目総会会場: 武蔵野市民文化会館(東京都武蔵野市中町3丁目9-11)

意見交換会及び2日目総会会場: 吉祥寺エクセルホテル東急(東京都武蔵野市吉祥寺本町2丁目4-14)

過去の議事資料や出席者名簿は平和首長会議ウェブサイトに掲載しています。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/history/jp-meeting/>

また、案内メールの添付ファイルが開けない場合、平和首長会議掲示板(平和首長会議情報システム<https://www.mfpinfosys.org/>内)に資料一式を掲載しておりますので、ご覧ください。

■ 2025年8月に第11回平和首長会議総会を長崎で開催します

平和首長会議は、加盟都市が集う総会を原則として4年に1回広島・長崎両市で交互に開催し、重要な事項を議決・承認することとしています。

第11回平和首長会議総会は、以下の内容で開催する予定です。

【日程】

令和7年(2025年)8月7日(木)～8月10日(日)

【場所】

出島メッセ長崎(長崎県長崎市尾上町4-1)ほか

<https://dejima-messe.jp/>

【出席者の負担】

- ・出席負担金 1人当たり14,000円
- ・旅費

【参考】

長崎市で同日程で開催された第9回総会の開催実績

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2017/former-9th-gc-jp/>



第10回平和首長会議総会の様子
(2022年10月 広島市)

会議概要や参加登録情報をお知らせするアドバンスプログラムは、今年度末頃に発行予定です。被爆80周年を迎えるに当たり、多くの加盟都市のご出席をお待ちしております。

■平和首長会議は展示データ提供を行っています！

各地で様々な平和関連イベント等が開催される当たり、各加盟都市で活用いただける平和首長会議の展示を紹介させていただきます。加盟都市におかれましては、ぜひこの取組にご協力ください。

🔗 こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト受賞作品（作者メッセージの展示用データもダウンロードできます）：

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/art/drawings-data/>

🔗 平和首長会議原爆ポスター展：

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/poster/>



■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします

平和首長会議では、活動の活発化と連帯意識強化を図るため、メンバーシップ納付金制度を導入し、1自治体当たり年額 2,000 円の負担をお願いしています。

令和 5 年 10 月 27 日付け「第 11 回平和首長会議国内加盟都市会議総会について(報告)」でご報告しましたとおり、同総会において、メンバーシップ納付金の納付率の向上に取り組んでいくことを確認しました。これまで「予算措置がない」など未納の理由を申し出ていただいていた加盟都市におかれましても、今年度の納付及び今後の予算措置(年額 2,000 円)をお願いいたします。

また、加盟自治体の皆様へ本年 4 月 4 日付けで請求書等を郵送しております。現在も納付金の納付を受け付けておりますので、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

なお、自治体判別のため、お振込の際には振込人のお名前の前に「全国地方公共団体コード」をご記入ください。また、お振込の際には「全国地方公共団体コード」の入力が難しい場合はお手数ですが、お振込の日付と振込人のお名前を平和首長会議事務局までメールでお知らせください。

今年度の納付金の負担が困難な場合は、免除を希望する理由を記載の上、必ず平和首長会議運営課までメールでご連絡ください。

日本非核宣言自治体協議会の会員自治体は、平和首長会議メンバーシップ納付金の取扱いに関する要綱第 2 条第 4 項の規定に基づき、納付金が免除となりますので、平和首長会議運営課までお知らせください。皆様のご協力をお願いいたします。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

■加盟都市の活動紹介

●大阪府八尾市「令和 6 年度戦争体験講話」の実施

大阪府八尾市では、「令和6年度戦争体験講話 東京大空襲～あのとき、あの場所で、何がおこったのか～」と題した講演会を、令和6年8月12日(月・祝)に実施いたしました。

当日は、東京大空襲体験者の二瓶治代さんによる講演会と八尾市で活躍する団体によるミニコンサートを実施いたしました。二瓶さんの講話は、東京都国立市のご協力のもと、実現いたしました。10代未満から70代という幅広い世代の方々に来場いただき、来場者は延べ100人となりました。二瓶さんが語られる東京大空襲の詳細な描写は、会場の全員を惹きつけ、皆さんとても真剣に聞いておられました。アンケートの感想では、「戦争はしてはいけないことが実感した、戦争体験者の方の話をまた聞いてみたい」という声が多数寄せられました。



写真提供：八尾市

● 兵庫県宝塚市 1994年に“平和への願い”を込めて埋設したタイムカプセルを開封しました

宝塚市は、平成6年(1994年)8月4日に平和の尊さを啓発し永遠の平和社会を築くことを願って、市民の寄付を募り、市立手塚治虫記念館前に平和モニュメント「火の鳥」を建設しました。この台座部分には、平和を願う市民や学校、団体からのメッセージや資料などが収められています。

そして、30年後の本年8月20日(火)に2基のタイムカプセルを開封しました。当時の市長である正司泰一郎様や手塚治虫記念館名誉館長の手塚眞様らにご参加いただき、収納物を団体、学校の代表者にお返し、30年前と現在、そして未来への“平和への願い”を来場者と共有しました。



写真提供: 宝塚市

● 大分県中津市 平和首長会議ポスター展の開催

大分県中津市では、令和6年8月1日から15日までの間、市役所本庁1階市民ホールにて、平和首長会議ポスター展を開催しました。広島・長崎における被爆の実相や、核兵器の被害の状況などを、写真・絵・画像とともに展示することで、核兵器のない平和な世界の尊さを改めて知っていただく機会となりました。

来庁者の多い市役所本庁1階フロアでの開催ということもあり、開催期間中は高齢の方や若い親子連れなど、様々な方がポスター展をご覧になっている姿を見ることができました。

被爆から79年が経過し、実際に戦争や被爆を体験した方が少なくなっている中、これらの方々が目の当たりにした悲惨な体験を風化させないためにも、今回のような取組を続けていくことが重要であることを再認識しました。



写真提供: 中津市

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、ご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

■平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,429自治体

2024年11月1日付で、3自治体が加盟し、加盟自治体数は8,429都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国・地域名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
フランス	ノワジー・ル・セック	177	理事都市であるグリニー市の呼び掛けにより加盟。
オランダ	スマリンガーラント	185	
英国	ホースフォース	88	副会長都市及びリーダー都市であるマンチエスター市の呼び掛けにより加盟。

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！



🔗 11月1日付新規加盟自治体一覧(PDF):

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2024/file-2410-newmembers2411_jp.pdf

🔗 加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF):

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf

■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF) :

https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト) :

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



■平和教育の取組事例を募集しています

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

🔗 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト) :

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第121回)

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

今年のノーベル平和賞を日本被団協が受賞することになってから、日本被団協と、団体を構成する都道府県の組織の現在の活動や歴史とともに、一人一人の被爆者が「あの日」からの79年間、どんな苦しみや不安、あるいはささやかな生きる喜びを胸に生きてきたかについても知ろうとする人が増えていると感じられます。ノルウェーのノーベル賞委員会は、授賞理由として「いつか歴史の目撃者としての被爆者はわれわれの前からいなくなる。しかし、記憶を守る強い文化と継続的な関与により、日本の新たな世代は被爆者の経験とメッセージを引き継いでいる」と述べています。

中国新聞ヒロシマ平和メディアセンターは、ウェブサイト過去10年以上続けている「記憶を受け継ぐ」という連載記事を掲載しています。180人以上の被爆者が、中国新聞ジュニアライターの中高生記者に体験を証言したものです。「日本の新たな世代」が体験を引き継ぐ活動の一つとして、改めて広く読んでもらえることを願います。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

『記憶を受け継ぐ』 矢野美耶古さん—生き残り 自分を責めた
<https://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=146646>

『記憶を受け継ぐ』 吉田章枝さん—頭蓋骨を抱き泣いた母
<https://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=145409>

全国会議員にアンケート 日本被団協、被爆80年に向け
<https://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=146061>

長岡さん遺影登録 原爆資料館 初代館長 平和祈念館
<https://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=146213>

〔被団協ノーベル平和賞〕 坪井さん遺志 次世代へ 後輩の元教員 松井さん 死去3年 「核廃絶」願い継ぎガイド
<https://www.hiroshimapecacemedia.jp/?p=146404>

=====

■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

=====

核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効し、現在70か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

🔗 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙
<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5 (公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈X(旧ツイッター)〉  @Mayors4Peace
<https://x.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉  @mayorsforpeace
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！